

事業番号	事務事業名	育児用品助成事業	所管課名	保健福祉課	令和 2 年度課長名	水島 剛
01846	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	子育て支援係	担当者・シート作成者
	施策名	16	子育て支援の充実	根拠法令等	鏡野町おむつ助成金交付要綱(処理用ゴミ袋支給事業)	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	(事業内容) 1歳未満の乳児を養育している保護者に対し、乳児一人につき月額4千円までのおしめ代を助成。またその保護者に対し乳児一人につき一回限り50枚のゴミ袋を支給。 (業務の手順) ○ゴミ袋 母子手帳交付時・転入手続きの際説明(転入時はそののち申請と支給を行う)。出生手続きの際申請と支給。その後電算管理→公金振替。 ○おしめ 母子手帳交付時・転入時に説明と申請書類の交付。申請月に受付→審査→電算管理→決定及び確定通知→振込。	主に少子化対策や子育て向上を図ることを目的とし、平成20年度から開始した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 鏡野町に住所のある1歳未満の乳児、保護者	ア 1歳未満の乳幼児数	人	見込 実績	100 102	100 82	100 84	90	90
イ	イ		見込 実績					
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 家計の負担を軽減してもらう	ア 交付を受けた世帯数	世帯	目標 実績 達成率	170 174 102.4%	170 185 108.8%	170 158 92.9%	170	170 92.9%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 制度の周知 申請受付 審査 入力	ア 制度の周知数	回	目標 実績 達成率	90 98 108.9%	90 82 91.1%	90 89 98.9%	90	90 98.9%
イ 交付決定 確定通知 振込	イ 申請受付・審査件数	件	目標 実績 達成率	450 424 94.2%	450 434 96.4%	450 377 83.8%	450	450 83.8%
ウ	ウ 交付決定	件	目標 実績 達成率	450 423 94.0%	450 429 95.3%	450 377 83.8%	450	450 83.8%

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 03		項 02		目 01		大事業 中事業					事業番号
	一般会計		民生費		児童福祉費		児童福祉総務費		07	02	予算上の事業名			
									育児用品助成事業					
予算(千円)	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比	決算(千円)	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財							その他特財							
一般財源	4,013	4,069	3,537	3,537	3,537	-532	一般財源	3,102	3,398	2,847	3,537	3,537	-551	
合計	4,013	4,069	3,537	3,537	3,537	-532	合計(A)	3,102	3,398	2,847	3,537	3,537	-551	
財源名称							従事正職員人数	1	1	1	1	1		
							延べ業務事務時間	100	100	100	100	100		
							人件費計(千円)(B)	338	350	334	335	335	-16	
最終予算額		3,537 千円		予算執行率		80.4%		トータルコスト(A+B)	3,440	3,748	3,181	3,872	3,872	-567
主な支出事業内容(予算)	通信運搬費						37 千円							
	負担金、補助及び交付金(補)						3,500 千円							
主な支出事業内容(決算)	通信運搬費						24 千円							
	負担金、補助及び交付金(補)						2,824 千円							

事業番号	01846	事務事業名	育児用品助成事業	所管課名	保健福祉課
------	-------	-------	----------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
県内でも類を見ない画期的な事業である。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
母子手帳交付時、転入時(1歳未満の子供がいれば)個々に説明。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
対象になる期間や内容(インターネットで購入した場合や布おむつ購入について等)、町民の方から問い合わせがある。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	保護者の経済的な負担を軽減することで、子育て支援に結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	子育て支援、少子化対策は町の施策であり、公費投入は妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	対象は限定されており、拡充等の余地はない。
効率性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	現状のとおり対象者を限定すれば、今以上の成果向上の余地はないものと思われる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	保護者が全額負担しなければならず、町の子育て支援が後退する。
	⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
	<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	現在の方法で十分成果があるため、削減余地はない。
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	成果と事業費は比例しているため、成果を下げずに事業費の削減はできない。 令和2年度については申請受付数と交付決定数が前年度までより減少しているが、前年度までの事務処理に関する取り扱いを令和2年度から変更したためである(これまでは4月当初申請分を前年度分として計上していた)。よって見かけ上は減少しているように見えるが、全体として申請が大きく減ったわけではない。よって削減余地はない。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方を見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	兼務で事務を行っており、削減余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	全額の補助ではなく、上限を定めており受益者の負担は必要となるため、公平であるといえる。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	子育て世代の負担を軽減できている。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																							